

2023年度 法科大学院

第2期入学試験問題

2時限

民法

(論文式)

試験時間 50分

注意事項

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。
2. この問題冊子の1ページから問題が掲載されています。
3. 試験時間中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び解答用紙の汚れ等に気付いた場合は手を挙げて監督に知らせてください。
4. 解答用紙には解答欄以外に記入欄がありますので、監督の指示に従ってそれぞれ正しく記入してください。
5. 解答は、必ず解答用紙の解答欄に記入してください。解答用紙の解答欄以外に記入された解答はすべて無効とします。解答用紙の裏面を使用する場合は「裏面に続く」と記載してください。
6. 解答用紙は各1枚しか配布しません。複数枚請求されてもお渡ししません。
7. 貸与した六法以外の参照は一切できません。
8. 試験問題の内容等について質問することはできません。
9. 問題冊子の余白等は適宜使用してかまいませんが、解答用紙の解答欄以外に記入された解答は無効とします。
10. 試験終了後、問題冊子は持ち帰ってください。

[民法]

Bは、A法人所有の自動車に乗り、A法人の預金の払戻しをするため銀行へ行く途中、信号を無視して、通行人Cをはねた（以下、「本件事故」という。）。A法人の自動車を利用するためには、A法人の利用許可を得ることとなっており、また、A法人では、日ごろ、自動車の運転について十分注意するよう社員間で確認がなされていた。本件事故の際にも、Bは、自動車の利用許可を得ていた。

この場合に、A法人が一般社団法人であり、Bがその代表理事であるとき、また、A法人が株式会社であり、Bがその従業員であるとき、負傷したCは、それぞれ、誰に対して、治療費の支払を請求することができるかを検討しなさい。なお、問題の検討にあたって、場合分けが必要な場合には、場合分けをして答えなさい。

（解答は全て解答用紙に記入すること）